

令和7年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 理解増進部門

資料 2

高知大学 第25回定例記者会見
令和7年4月25日



ジオパークを活用した自然科学リテラシー普及啓発

ジオパーク（大地の公園）とは？

理念・目的：

地質学的な価値を持つ自然遺産を保護、関連する生物・生態・文化遺産とともに研究・教育・ツーリズムなどに活用することで地域の持続可能な開発を進める

審査・認定制度：

- ・ユネスコの正式プログラム（2015～）
- ・4年に1度再審査(PDCAの外部評価)
- ・GGN：室戸を含む国内10地域、
- ・JGN：国内46地域(2023年5月24日現在)



これまでの取組・成果

- ・室戸ジオパーク推進協議会顧問・専門員・審査員として参画
- ・室戸世界ジオパークセンターにサテライトラボ（KICS衛星教室）設置（2015年4月～）
- ・室戸高校「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」運営指導・協力・支援
- ・企画展や講演会を多数開催、防災学習プログラム、地域協働Project Based Learning（PBL）開発
- ・JSTさくらサイエンス事業による外国人招聘・高校生との交流事業実施

JSTさくらサイエンス事業



室戸高校における高校生とバジャラン大学（インドネシア）学生との国際交流事業

防災学習・フィールドワーク



津波避難施設視察（防災学習）

地域協働科目・防災学習プログラム開発によるツーリズム、多様な機会を活用した異文化交流機会増強



室戸世界ジオパークセンター



サテライトラボ（KICS衛星教室）



サテライトラボ：自然科学リテラシー教育とボトムアップの地域振興・地域協働拠点

地域住民参加型企画運営



住民参加型チームビルディングで、「学ぶ」「守る」「もてなす」など議論

地域連携高校教育改革



「Glocal High School Meetings 2021」において、日本語発表部門で銀賞、英語発表部門で金賞・文部科学省初等中等教育局長賞受賞

地域協働高等学校教育で次世代地域人材育成・シニア層への刺激で、自然科学リテラシー教育普及の好循環

国立大学法人
高知大学

国立大学法人
高知大学

受賞者

国立大学法人
高知大学

国立大学法人
高知大学

小笠原 翼

地域協働学部 客員講師、
海洋コア国際研究所 事務補佐員

柿崎 喜宏

海洋コア国際研究所 客員講師、
室戸ジオパーク推進協議会 地質専門員

新名 阿津子 人文社会科学部門 准教授

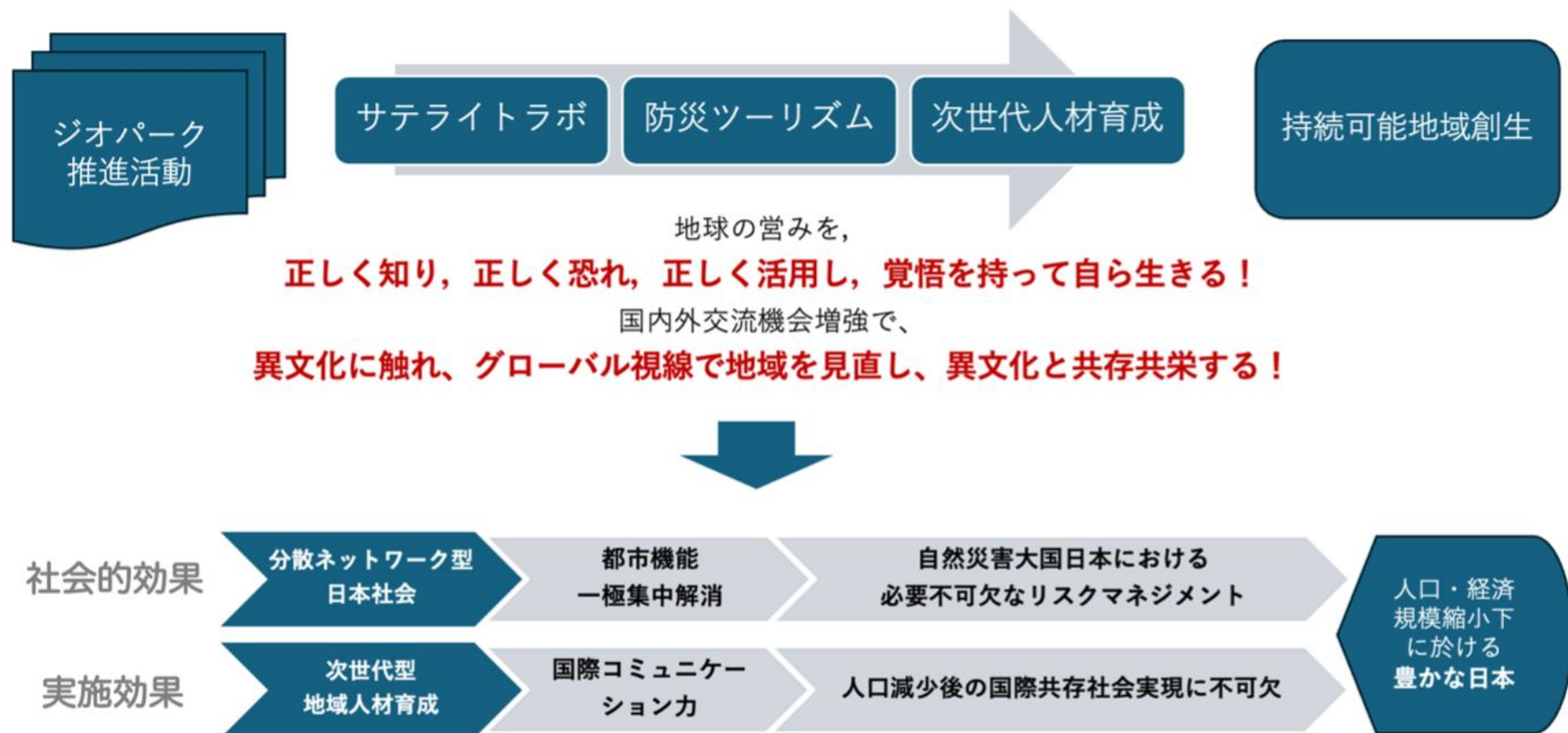
岩井 雅夫

理工学部門教授、
海洋コア国際研究所副所長

村山 雅史

複合領域科学部門教授、
海洋コア国際研究所兼務教員

👉 ジオパークの仕組みを用いた産官学住民一体の地域新興体制の構築



全国高等学校グローバル探究オンライン発表会金賞



金賞を受賞しました！

～全国グローバル探究オンライン発表会～

室戸高等学校（総合学科）の取り組み



令和4年1月29日開催

Glocal High School Meetings 2022



発表会の様子 英語発表部門4名、日本語発表部門6名と、2年生10名が参加しました。

いずれのグループにおいても探究活動は現在も継続しており、今後の成果発表にも大きな期待がかけられています。

2021年：金賞（文部科学省初等中等教育局長省受賞：全国1位）

受賞発表名：Our Proposal for the Regional Development of Muroto City

2022年：金賞（審査員長特別賞）

受賞発表名：Mathematics×SDGs 持続可能な室戸市を実現するための防災探究活動

「広報むろと」No. 641 2021年4月 <https://www.city.muroto.kochi.jp/pages/page1534.php>（最終閲覧日：2025年4月22日）

高知県産業教育振興会「室戸高等学校 金賞を受賞しました！」<https://sanshinkochi.com/2022/01/muroto/>（最終閲覧日：2025年4月22日）



室戸ユネスコ世界ジオパークって何？

- ・ジオパークとは？
- ・室戸ジオパークの広さ
- ・ジオパークの価値

室戸ジオパーク推進協議会
推進事務局
佐藤 隆



探究活動（防災）：まちあるき調査

私たちの取り組みと今できること

①蓄光テープ

外国人・高齢者

②段ボールベッド

高齢者

③校内見取り図

外国人

④避難所運営マニュアルの和英翻訳

外国人

⑤応急手当

外国人・高齢者

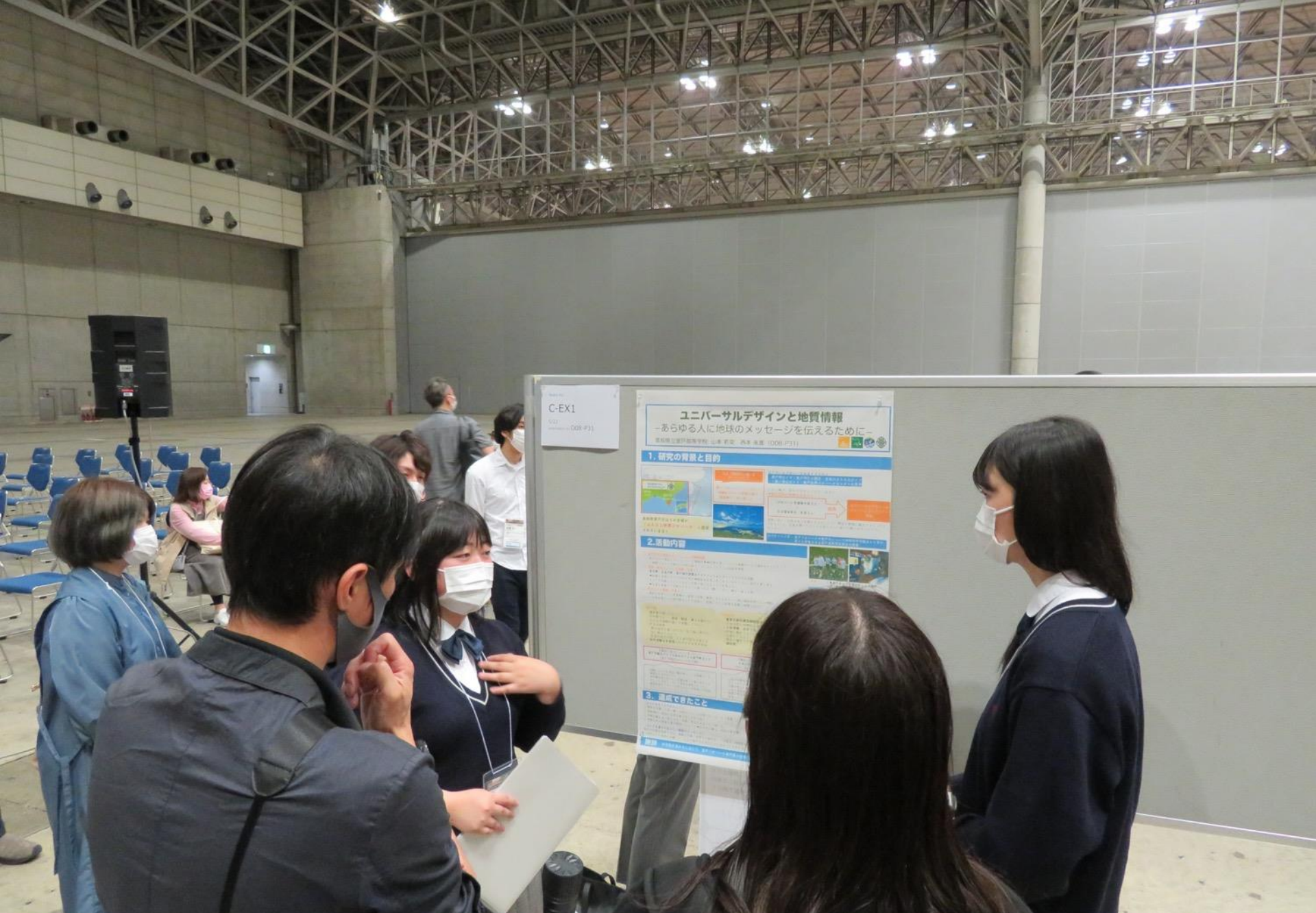
発表者
室戸高校3年生



探究活動（防災）：アジア太平洋地域ジオパークネットワークシンポジウム（タイ）



探究活動（ユニバーサルデザインツアー開発）



探究活動（ユニバーサルデザインツアー開発）：JpGUにて成果発表



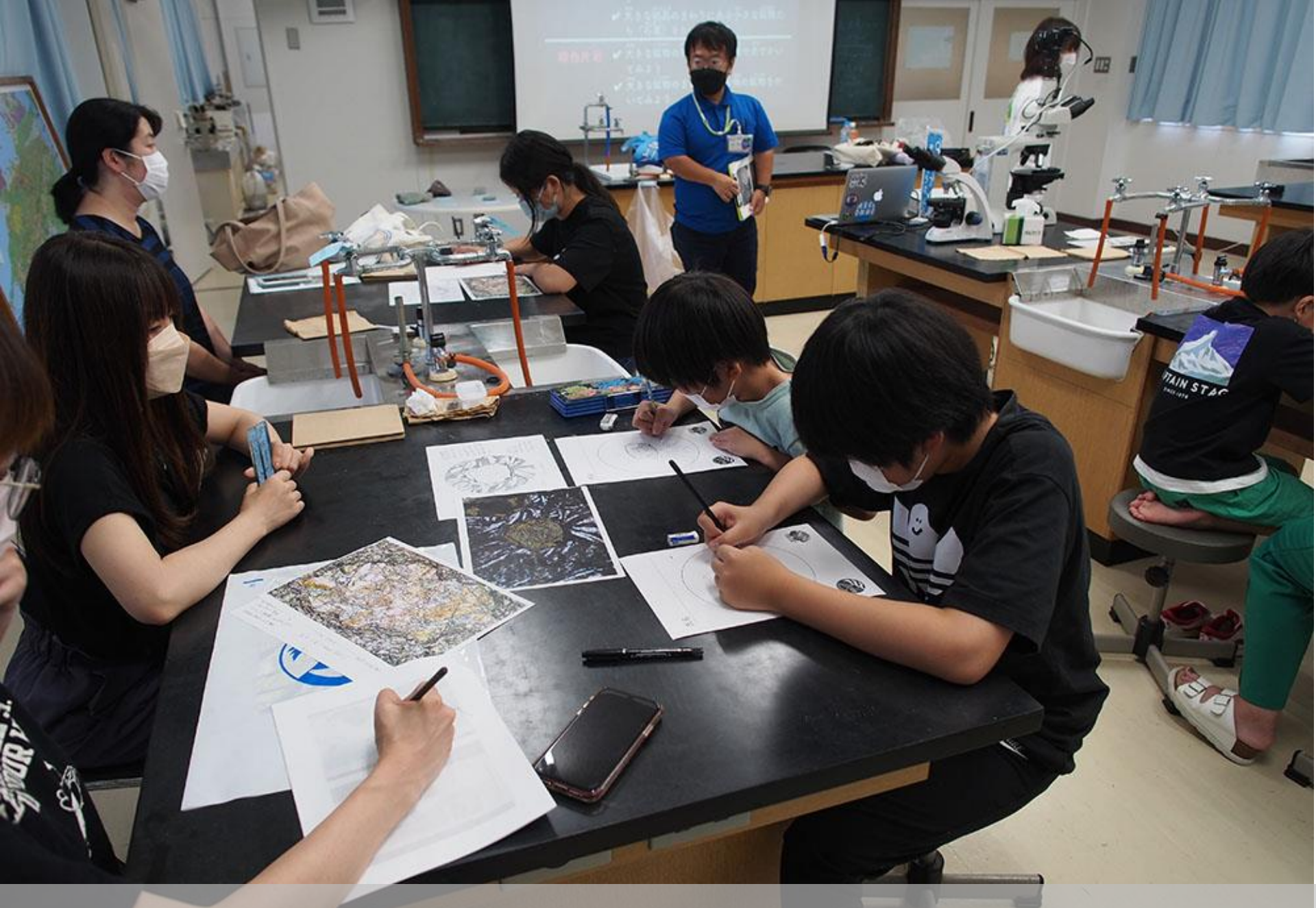
高校間交流事業：ランカウイユネスコ世界ジオパーク（マレーシア）



室戸世界ジオパークセンター（高知県室戸市）



2015年度～高知大学サテライトラボ（KICS教室）



まがりラボ（夏休み自由研究プログラム）



まがりラボ（夏休み自由研究プログラム）



ユネスコ再審査対応

高知のニュース

地域別

国内・国際

こども高新「読もっか」

社説

連載・特集

2024.09.24 16:37

探査船「ちきゅう」の役割学ぶ 室戸高で中継授業



高知新聞社

SHARE



高知県室戸市室津の室戸高校で24日、東北沖の地球深部探査船「ちきゅう」の船上から中継する授業が行われ、2年生26人が実施中の地質調査について学んだ。

ちきゅうは、海洋研究開発機構が運用する全長210メートル、総重量約5万6千トンの掘削船。水深約7千メートルの掘削能力があり、地質試料の回収や分析を通じて巨大地震や気候変動の仕組みの解明を進めている。

授業は同機構の教育事業の一環。2011年3月に発生した東日本大震災の震源域を調査するプロジェクトメンバーとして、9月から乗船している高知大学海洋コア国際研究所の岩井雅夫教授（60）が講師を務めた。



東北沖を調査中の「ちきゅう」に乗船した研究者から授業を受ける生徒たち（室戸市の室戸高校）

ジオパークを活用して実現する地域の持続可能な発展

室戸市の課題

限られた人的リソース

アクセスできる情報量・質の限界

..... ジオパーク認定(2008年：日本、2011年：世界)

高知大学
教員・研究者・学生

世界ジオパークネットワーク
50カ国・229地域



室戸ユネスコ世界ジオパーク=橋渡し



学校教育（保・小中高）、地域住民、地域団体（ガイド・文化保全団体）
保全・教育・地域振興(e.g. ツーリズム) の取り組み



高知大学:

2023年12月 インドネシア・パジャジャラン大学招聘
→室戸巡検、室戸高校訪問・生徒との交流

2024年8月 パジャジャラン大学との学術交流協定

2024年11月 室戸ジオ×チレトゥパラブハンラトゥ・ユネスコ世界ジオ
パークと連携協定

グローバル若手人材交流の実践